



京放技ニュース

4 / 2024
(通算767号)

発行：(公社)京都府診療放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス <http://www.kyohogi.jp/>

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益
社団法人 京都府診療放射線技師会

令和6年度事業の始まり



公益社団法人 京都府放射線技師会

会長 河本 勲則

春の訪れとともに優しい陽気が心温かく感じるようになりました。桜も満開でお花見に行きたくなる気分です。4月より新たな思いを胸に令和6年度の事業を開始します。

令和5年度は、会の名称を京都府診療放射線技師会へと改名し、当会創立75周年(法人設立40周年)記念事業や府民交流フェスタへの初参加と府民公開講座も開催しました。会員の皆様のご協力ですべての事業が終えられましたことを感謝申し上げます。

令和6年度は、コロナ感染症が5類に移行され、コロナ禍前のように府民生活もアウトドアとなり、研修会や講習会は会場型での運用で開催をしたいと考えています。

定例研修会は、今年度で600回を迎え記念学術大会として開催します。また日放技主催のフレッシューズセミナーに加えフレッシュ診療放射線技師の集いも開催します。京都府主催の原子力災害訓練や原子力災害医療研修会へも会員の参加を募り、災害発生時の協力体制を強化したいと考えています。多くの会員が訓練に参加して災害時に備える時であると思います。

令和3年度の診療放射線技師法の改正に伴う厚生労働省第273号告示研修(実技研修)の開催は、京都府看護協会の協力のもと年8回(1回48名)で、会場は主に京都府立医科大学看護学舎を予定しています。医師のタスク・シフト/シェアへの協力からも若手技師の告示研修への早期受講をお願いします。

今年度は、総会にて理事の改選を行います。新体制の下で「信頼・感謝・そして未来へ」をテーマに府民の健康増進と安全で安心な医療の提供に努め、我々診療放射線技師の地位向上と静脈ルートの確保・抜針等臨床行為を安全に行える令和時代の新しい技師像を目指して各委員会が活発に活動し多くの事業を展開します。

会員の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和6・7年度地区理事候補者選挙開票報告

令和6年3月8日

公益社団法人 京都府診療放射線技師会
選挙管理委員長 松元 誠

令和6・7年度地区理事候補者（敬称略）選挙開票結果を下記の通りご報告いたします。

北地区 有権者数 78、投票者数 39、投票率 50.0%

当選：足高 翼（西陣病院）37票

中地区 有権者数 57、投票者数 30、投票率 52.6%

当選：藤川 優志（洛和会 丸太町病院）23票

東地区 有権者数 113、投票者数 52、投票率 46.0%

当選：寺崎 圭（国立大学法人 京都大学医学部附属病院）44票

西地区 有権者数 124、投票者数 67、投票率 54.0%

当選：丸山 久喜（向日回生病院）60票

南地区 有権者数 94、投票者数 33、投票率 35.1%

当選：杉原 哲雄（京都きづ川病院）22票

両丹地区 有権者数 76、投票者数 48、投票率 63.2%

当選：足立 卓也（市立福知山市民病院）48票

西南部地区 有権者数 83、投票者数 33、投票率 39.8%

当選：高田 春彦（松下記念病院）20票

総計 有権者数 625、投票数 302、投票率 48.3%

尚、選挙管理委員会では、5月11日（土）開催の通常総会にて、令和6・7年度理事の選任及び令和6・7年度監事選挙を行う予定です。

会 告**第77回 公益社団法人京都府診療放射線技師会
通常総会開催**

公益社団法人 京都府診療放射線技師会

会長 河本 勲則

第77回公益社団法人京都府診療放射線技師会通常総会を定款第24条に基づき、下記の要領で開催します。会員各位には、ご多忙のことと存じますが万障お繰り合わせの上、ご出席いただきますようお願いいたします。

尚、欠席される場合は総会資料に同封される委任状と書面議決書を5月10日(金)必着で事務所へ返送をお願いいたします。

日 時：令和6年5月11日(土) 14:00～

会 場：京都府民総合交流プラザ

京都テルサ(東館2F 中会議室)

住 所：京都市南区東九条下殿田町70番地

電 話：075-692-3400

【通常総会次第】

開会の辞

議事

1. 議長選任の件

2. 議案

第1号議案

- (1) 令和5年度事業報告(案)
- (2) 令和5年度会計決算書(案)
- (3) 令和5年度監査報告

第2号議案

- (1) 令和6・7年度理事(会長及び副会長を含む)の選任
- (2) 令和6・7年度監事の選任

3. その他

- (1) 令和6年度事業計画報告
- (2) 令和6年度予算書報告

4. 議事録署名人選任に関する件

閉会の辞

● 公益社団法人 京都府診療放射線技師会 令和6年度事業計画・予算書 ●

公益社団法人 京都府診療放射線技師会
会長 河本 勲則

令和6年2月3日に行われた令和5年度第10回理事会にて、令和6年度事業計画と収支予算が承認されましたので、以下に報告いたします。

令和6年度事業計画

1. 総括

令和5年度の事業は、新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同様の5類に移行されたことから、イベントの開催制限の目安も緩和され、会場参加型の研修会や講習会が開催できるようになりました。当会としましては曖昧な対応ではなく、次のパンデミックに向けてマスクの着用等平時の備えはしっかり行い事業推進に努めて参ります。

会員の皆様のご協力により令和5年度の京都府診療放射線技師会（以下「京放技」と称する。）の事業を終了できましたことを感謝申し上げます。

令和6年度、定例の研修会は参加される方の利便性を考慮してWeb開催を基本とします。全地区委員会や厚生労働省第273号告示研修(実技研修)（以下「告示研修(実技研修)」と称する。）は参加者が密にならないよう広い会場にて開催できるように準備します。

日本診療放射線技師会（以下「日放技」と称する。）主催の生涯セミナーや医療基礎講習会は、会場や講師の派遣が整い次第開催します。

新卒者や若手技師のための臨床セミナーも企画開催を検討します。

関西広域連合の参加団体として合同研修会や災害訓練へ参加します。また原子力災害医療協力機関として原子力災害時の医療対応に協力します。

近年、地震や豪雨による災害が発生していますので、京都府原子力合同災害訓練や府内市町開催の災害訓練にも積極的に参加します。また近畿各府県との合同原子力災害訓練へも参加者を派遣します。

医療放射線の安全性の啓蒙や放射線検査内容の把握と診療放射線技師業務内容の理解を求め、京都府看護協会の卒後教育や看護専門学校の放射線検査や放射線治療の講義へ講師を派遣します。さらには、臨床検査技師会や臨床工学技士会と医療従事者間で医師のタスク・シフト/シェアへの協力のための活動と研修会の開催に講師を派遣します。

京都府医療推進協議会事業へも積極的に協力し、イベントに参加して関連団体との関係強化を図り、京都府民の健康増進と安全で安心な医療の提供に寄与します。

会員数の増加推進については、新卒者入会促進として日放技主催のフレッシュャーズセミナーの開催、診療放射線技術や臨床知識の向上を目的とした研修会を開催します。さらには医師の働き方改革によるタスク・シフト/シェアの推進から、令和3年の診療放射線技師法の一部改正に伴う告示研修（実技研修）を年に6回から8回（1回開催48名）開催する予定にしています。

京都府下の全診療放射線技師の参加を目指し、機関誌や当会ホームページにて開催をご

案内します。また、告示研修（実技研修）受講修了者のOJT（On the Job Training）につきましても会員からの要望もあり、京都府看護協会へ協力をお願いし開催できるように準備します。

診療放射線技師の専門性を生かした高度なチーム医療の推進と業務や求心力の向上を目的に情報共有の場として発足しました、京都府下病院と会員施設代表による技師長、副技師長会を開催します。特に放射線安全管理や医療法改正等については、厚生労働省通達事項等の情報共有を目的とした研修会を開催したいと考えています。

令和6年度も公益法人法に適合した会計管理と組織運用を遵守し、放射線の専門家が集う職能団体としての信用を確立すると共に診療放射線技師の業務への理解と地位向上を目指して活動します。会員の皆様の当会へのさらなるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 社会事業（広報・渉外・組織・調査）

- (1) 「くらしと健康展」が京都府の方針から令和4年度で終了となり、昨年からは京都府立植物園で毎年11月に開催されます、きょうと地域創成府民会議主催の「府民交流フェスタ」に参加しています。令和6年度も「府民交流フェスタ」のブース展示を行い、参加者からの放射線検査や放射線治療についての相談や医療放射線の安全性の啓蒙と診療放射線技師業務への理解を求めます。また京都府下で開催されます府民へのイベントにも積極的に参加します。

引き続き情報委員会では当会ホームページに最新情報を掲載し、会員だけでなく府民の皆様にも社会性や公益性をご案内し情報公開します。今年度も他団体と連携して共同研修会での講演も行います。

- (2) 国や京都府主催の災害関連事業に積極的に参加協力し、原子力災害医療協力機関として京都府が開催する、原子力災害訓練や講習会などに診療放射線技師を派遣します。

無資格者による診療放射線技師業務の防止については、管理者が法定独占業務を確定する診療放射線技師法を遵守されるように関係機関（京都府・京都市・京都府医師会・京都府歯科医師会・京都私立病院協会）に要望書を提出し、コンプライアンス重視の社会情勢の中で府民が安心して放射線診療を受けられる環境整備に協力を求めます。

- (3) 「京都病院学会」については、「第65回全日本病院学会 in 京都」が京都国際会館において9月28日～29日に開催されますことから、今年度の「京都病院学会」は開催しないことになりました。全日本病院学会への実行委員派遣依頼があれば協力します。

- (4) 組織調査活動については、各会員施設及び技師養成学校へ新卒者の京都府下への就職先調査を基に厚生委員会と協力して「フレッシュ診療放射線技師の集い」の開催を6月に予定します。学生や新職者に研修会やイベントを通して技師会への入会

促進を行い、そのほかにも会員間の求心力の向上を図り、各地区の活性化に向けて全地区委員会を開催し、会員との意見交換や技師会の事業推進への協力を求めます。さらには、会員への調査事業を活発にするとともに各地区委員会へ三役、常務理事が参加して地区活動の問題点を洗い出し、周知して活性化を図ります。各地区班編成の状況を調査し、再編成を含めて地区活動の活性化を行います。新入会員や若手会員と意見交換を行い、事業へ取り入れ、参加しやすい研修会や講習会を企画します。調査に関しては、会員へのアンケート結果や要望を検討し、多くの会員が気軽に参加できる参加型事業を展開して参ります。

- (5) 技師長、副技師長会の開催は、会員施設の技師長、副技師長に参席を頂き、医療や業務情報の共有と診療放射線技師の専門性を生かしたチーム医療の推進についての検討会や医療法、診療放射線技師法の改正等をテーマとした研修会や業務環境についての意見交換も行います。メンバーの利便性を考慮して Web 開催で行います。
- (6) ベトナム海外事業につきましては、コロナ禍で活動しておりませんが近畿地域診療放射線技師会の動向を踏まえて検討して参ります。

3. 研修事業（学術・放射線管理）

学術活動については、京放技の理念であります診療放射線技師の役割の充実と資質の向上を目指し、会員が望む生涯学習教育及び会員相互の学術、知識、意識向上の情報交換のできる研修会や府民に求められる健康増進と自立生活維持に関する講演会や公開講座を関連団体にもご協力いただき開催をします。

定例の研修会では、Web 開催を基本に新入会員向けの基本的な技術や専門的な内容と放射線検査に求められる臨床医学知識も含めて企画します。また府民の皆様向けに一般的な医療情報と健康長寿や健康維持の話題も取り入れ開催します。チーム医療の一員として医療従事者に求められる医療安全、感染対策、接遇の習得や法改正に伴う告示研修（実技研修）の開催も行います。

業務拡大に伴う統一講習会は、告示研修を受講する前の重要な講習会として捉えて、今年度も東京、大阪で予定されています統一講習会へ講師の派遣も検討します。

令和8年度予定の日本放射線技術学会近畿支部と近畿地域診療放射線技師会合同学術大会の開催準備委員会へ役員を派遣します。

(1) 京都市内開催

特に開催月は決めず、Web 開催で会員が参加しやすい時間帯（平日の夜や土曜日の午後）で検討し、年6回程度の予定で開催します。

会場開催につきましては、新型コロナウイルス感染症患者の動向を鑑みて開催を検討します。

(2) 両丹地区開催

開催は限定せず、Web 開催を基本に研修会を年3回程度行います。

(3) 日放技主催の基礎技術講習及び医療基礎コース等の生涯教育講習会の開催につき

ましては、近畿地域診療放射線技師会の動向を鑑みて開催します。

令和3年から厚生労働省の指導のもと日放技が開催しています、告示研修(実技研修)を年6~8回の予定で主に京都府立医科大学看護学舎を会場として開催します。

(4) 京放技学術大会の開催

臨床放射線画像診断や臨床医学概論をテーマにした特別講演や各地区代表者による演題発表を基本企画として開催します。

(5) 府民公開講座の開催

府民の健康増進と放射線の安全性の啓蒙を目的に府民公開講座を年1回開催します。新型コロナウイルス感染症患者対策から広い会場を借りて開催します。

(6) その他

医療従事者として必要とされる知識やスキルを習得する研修会も積極的に開催します。

* 研修会は会員無料、非会員は有料とします。

* 技師会主催の Web 研修会は会員限定で行います。

管理士活動については、管理士会の事業推進を図るとともに、学術・広報・組織調査委員会と連携し、府民イベントへの開催協力や医療被ばくに関する講習会も開催します。放射線に関する実態調査やアンケートを集約し、啓蒙活動を行います。さらには、関西広域連合合同訓練や府下市町の災害関係の講習会や訓練、緊急被ばくフォーラムなどの研究会に積極的に参加して、原子力災害時の診療放射線技師派遣要請の準備を行います。

近畿地域診療放射線技師会学術大会では、他府県の管理士会と合同で研修会やシンポジウムを開催し交流を図ります。

京都医療科学大学の協力のもと線量計の取り扱いや校正作業と被ばく管理に関する講習会を開催し、京都府下各病院施設の正確な線量計管理と災害時の被ばく線量サーベイへの協力派遣を充実させます。医療法改正に伴う患者被ばく線量の記録管理に関する医療従事者対象の研修会の開催も検討しています。

4. 情報事業(編集・情報)

編集活動については、機関誌「京放技ニュース」を毎月1日に発行とします。

「京放技ニュース」は会員へ当会の事業活動報告や最新医療情報の提供と会員相互の情報交換ツールであります。また会員からの意見や要望、経験談も投稿していただき掲載します。

紙面につきましては、各委員会と連携し読みやすい構成と研修会等の開催計画を掲載して会員が予定を立てて参加しやすいように構成します。

年度末に発行しています「京都府診療放射線技師会雑誌」につきましては、府民が読んでも話題提供できる内容とし、紙面のデジタル化やSNSの活用も検討します。また当会ホームページへの掲載も行います。

情報活動（主にホームページ更新）については京放技、日放技関係の事業活動内容などインターネットを通じて広報し、会員への迅速な情報提供に心がけ、会員相互の交流や技術、知識の向上を目的とし、会員からの投稿も掲載して閲覧しやすくしています。その他、関連他団体とのリンクや研究会、勉強会のご案内も行います。府民へは、公益社団法人としての役割を十分に果たせるよう府民向けの内容も掲載をして、健康寿命の延伸活動の一助にさせていただける内容も企画します。また公開講座や各種放射線に関連するイベント等のご案内と組織調査、広報渉外、放射線管理士の各委員会とともに情報提供を行い、府民向けの医療被ばくや各種放射線検査、治療機器についての紹介や府民からの放射線に関する質問や相談についても活用できるように正確かつ迅速に解答できる環境を整え、診療放射線技師業務と医療従事者としての役割を周知します。

5. 厚生事業

厚生事業については、会員相互の親睦を図るための重要な事業であり、主に親睦を深める事業を企画します。令和5年度の学遊会はボウリングとバーベキューを開催しました。

ここ数年雨で中止されています近畿地域放射線技師会野球大会にも参加します。

今年度も新人技師や若手技師の参加を募り、楽しいひと時を過ごせる企画で開催します。コロナ禍で開催できませんでした「フレッシュ診療放射線技師の集い」や「新春の集い」の開催も検討します。

6. その他

(1) 表彰関係

当会の事業実績や会員の功績、功労に対し、個人・団体表彰の推薦を積極的に行います。

日放技勤続50年、30年表彰者推薦申請も行います。他団体への表彰申請も検討します。

(2) 公益法人活動

第76回通常総会において当会の名称が京都府診療放射線技師会に改名され、診療放射線技師の職能団体として京都府民に信頼と安心を提供できる活動を目指して参ります。

今年度も公益法人会計基準に即した会費や財産の管理に努め、正確な決算報告と事業報告を行います。会員の皆様のご理解とご協力をお願いします。

(3) 令和7年度近畿地域診療放射線技師会学術大会

令和7年度近畿地域診療放射線技師会学術大会を京都府主催で開催します。学術大会開催へ向けて学術委員会を中心に実行委員会を立ち上げ、運用要項や大会プログラムの企画準備をします。

令和6年度 収支予算書(収支ベース)

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

公益社団法人 京都府診療放射線技師会

科目	予算額	前年度予算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①基本財産運用収入				
基本財産運用収入	50	50	0	
②受取会費収入	6,925,000	7,250,000	△ 325,000	
正会員会費収入	6,375,000	6,700,000	△ 325,000	会員620名 新入会10名 新卒入会15名
賛助会員会費収入	550,000	550,000	0	25,000円×22
③事業収入				
広告料収入	450,000	450,000	0	
④受取補助金収入				
日本放射線技師会補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	90,000	90,000	0	
⑤受取負担金収入				
日本放射線技師会負担金収入	80,000	80,000	0	
⑥寄付金収入				
寄付金収入	10,000	10,000	0	
⑦雑収入	10,050	10,050	0	
受取利息	50	50	0	
雑収入	10,000	10,000	0	
⑧特定資産取崩収入	0	1,000,000	△ 1,000,000	
記念事業積立定期	0	1,000,000	△ 1,000,000	
事業活動収入合計(A)	7,565,100	8,890,100	△ 1,325,000	
2. 事業活動支出				
①事業費	4,938,000	5,964,000	△ 1,026,000	
印刷製本費	1,300,000	1,300,000	0	
印刷製本費	1,300,000	1,300,000	0	
通信運搬費	720,000	720,000	0	
通信運搬費	600,000	600,000	0	
IT関連費	100,000	100,000	0	
電話料	20,000	20,000	0	
賃借料				
会場費	400,000	400,000	0	

諸謝金					
講師費	200,000	200,000	0		
創立75周年記念誌発刊費	0	500,000	△ 500,000		前年度執行事業につき
法人設立40周年記念事業費	0	500,000	△ 500,000		前年度執行事業につき
福利厚生費	345,000	345,000	0		
調査研究費	70,000	70,000	0		
図書費	5,000	5,000	0		
福利厚生費	200,000	200,000	0		
渉外費(慶弔)	70,000	70,000	0		
会議費	390,000	410,000	△ 20,000		
学術	60,000	60,000	0		
編集	80,000	80,000	0		
広報渉外	10,000	10,000	0		
組織調査	40,000	40,000	0		
管理士会	30,000	30,000	0		
厚生	20,000	20,000	0		
情報	50,000	50,000	0		
特別	20,000	20,000	0		
地区(7地区)	80,000	100,000	△ 20,000		
旅費交通費	175,000	185,000	△ 10,000		
学術	40,000	40,000	0		
編集	20,000	20,000	0		
広報渉外	5,000	5,000	0		
組織調査	10,000	10,000	0		
管理士会	10,000	10,000	0		
厚生	10,000	10,000	0		
情報	10,000	10,000	0		
特別	20,000	30,000	△ 10,000		
地区(7地区)	50,000	50,000	0		
広報渉外	90,000	60,000	30,000		
府民フェスタ	50,000	20,000	30,000		くらしと健康展より改称
原子力災害関連	30,000	30,000	0		
関連団体	10,000	10,000	0		
事業雑費	5,000	5,000	0		
事業雑費	5,000	5,000	0		
給料手当	609,000	613,000	△ 4,000		
給料通勤手当費	600,000	600,000	0		
法定福利費	9,000	13,000	△ 4,000		

租税公課費				
諸税	48,000	48,000	0	
受信費				
電話料	70,000	70,000	0	
消耗品費	120,000	150,000	△ 30,000	
消耗品	120,000	150,000	△ 30,000	
光熱水料費	70,000	70,000	0	
消耗什器備品費	100,000	100,000	0	
リース費	10,000	10,000	0	
支払負担金	13,000	5,000	8,000	
委託費				
事務所管理費2階	258,000	258,000	0	
保険料				
火災保険料	15,000	15,000	0	
②管理費	2,324,040	2,558,040	△ 234,000	
給料手当	609,000	613,000	△ 4,000	
給料通勤手当費	600,000	600,000	0	
法定福利費	9,000	13,000	△ 4,000	
会議費	570,000	600,000	△ 30,000	
理事会費	150,000	180,000	△ 30,000	
各委員会費	200,000	200,000	0	
役員活動費	120,000	120,000	0	
総会開催費	50,000	50,000	0	
総会準備費	50,000	50,000	0	
旅費交通費	630,000	780,000	△ 150,000	
理事会旅費	300,000	450,000	△ 150,000	
各委員会旅費	180,000	180,000	0	
役員活動旅費	150,000	150,000	0	
租税公課費				
諸税	35,000	35,000	0	
支払負担金			0	
支払負担金	5,000	5,000	0	
受信費				
電話料	50,000	50,000	0	
消耗品費	100,000	100,000	0	
消耗品費	70,000	70,000	0	
通信費	30,000	30,000	0	
光熱水料費				
光熱水料費	50,000	50,000	0	
消耗什器備品費				
消耗什器備品費	50,000	50,000	0	

リース費		10,000	10,000	0	
委託費					
	事務所管理費1階	140,040	140,040	0	
保険料					
	火災保険	5,000	5,000	0	
渉外費		20,000	20,000	0	
管理雑費		50,000	100,000	△ 50,000	
	管理雑費	30,000	50,000	△ 20,000	
	修繕費	20,000	50,000	△ 30,000	
③特定預金積立金		100,000	100,000	0	
	特別事業	0	0	0	
	備品購入	0	0	0	
	事務所整備	100,000	100,000	0	
	マンション改修	0	0	0	
事業活動支出合計 (B)		7,362,040	8,622,040	△ 1,260,000	
事業活動収支差額 (A) - (B)		203,060	268,060	△ 65,000	
Ⅱ投資活動収支の部					
1. 投資活動収入		0	0	0	
2. 投資活動支出					
	固定資産取得費	0	0	0	
	事務所購入費	0	0	0	
	什器備品購入費	0	0	0	
投資活動支出合計 (C)		0	0	0	
投資活動収支差額		0	0	0	
Ⅲ財務活動収支の部					
	財務活動収入	0	0	0	
	財務活動支出	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ予備費 (D)		203,060	268,060	△ 65,000	
当期収支差額(A) - (B) - (C) - (D)		0	0	0	
前期繰越収支差額		2,199,096	2,139,096	60,000	定期分(寄付金)を追加
次期繰越収支差額		2,199,096	2,139,096	60,000	

(注)借入金限度額 1,000,000円

債務負担額 10,000,000円

蘆田暢夫名誉会員を偲んで

京都府診療放射線技師会
会長 河本 勲則

令和6年2月17日に蘆田暢夫名誉会員様をご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。蘆田名誉会員は京都府放射線技師会の副会長、理事、監事を16年間に渡り歴任され、当会事業の推進と事務所取得に貢献されました。また社団法人設立に積極的に取り組まれ京放技の社会的な地位を確立されました。監事として創立40周年記念式典や日本放射線技術学会近畿部会との共催研修会へ参加してご指導もいただきました。名誉会員になられてからは、総会や研修会でお会いし笑顔で気さくにお話していただきましたが、最近では体調を崩しておられると聞いて心配しておりました。蘆田名誉会員の功績は当会発展に大きく寄与するものであり、生前の功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

合掌

前会長 轟 英彦

令和6年2月17日にお亡くなりになられた蘆田暢夫名誉会員の訃報を知ったのが、3月9日の夕方、大変驚きました。年に一度、電話で近況などをお話しさせて頂き、昨年のお正月にお話ししたのが最後になってしまいました。私が蘆田名誉会員と初めてお会いしたのは昭和57年に就職した京都府立医科大学附属病院で、技師長をされておりました。忙しい技師長の仕事の合間に唯一CT検査をしていたのが印象的でした。蘆田さんが退職されるまでの10年間で色々と教えていただき、特に印象に残っているのは労働組合の書記長をして、病院でストライキを行ったとおっしゃった時はすごいと思いました。技術学会・技師会・労働組合等を通じての人の輪を広げること、『井の中の蛙になるな』は今でもはっきり覚えています。技師会の役職としては昭和57年から副会長を6年、監事を4年されており、一緒に技師会や技術学会の催しに御同行することが多かった私にとって、当時の他の病院の技師長クラスの方は皆さん豪快で親分肌の方々ばかりだと思い、学ばせていただいたことも多く、感謝いたします。このようにバイタリティーのある方が次から次へとこの世を去られていくことは非常に残念で仕方がありません。残された私たちは、よき先輩の行動力を再度認識する必要があるのかもしれない。多くのことを学ばせて頂き本当にありがとうございました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

令和5年度 府民公開講座（第596回研修会）報告

学術理事 中川 政幸

今年度の府民公開講座は、令和6年3月3日（日）14時より、TKP ガーデンシティ京都タワーホテル6F（ナポリ+ミラノ）において、「緑内障を知ろう」京都大学大学院医学研究科眼科学講師 亀田隆範先生よりご講演いただきました。今回の広報は京都新聞に後援していただいたこともあり、マイコーナー、というあらゆる情報の広場に広告掲載を行いました。2月3日（土）の朝刊、夕刊、2月4日（日）の朝刊に京都、滋賀の全世帯へ向けての広報となりました。参加者は41名でした。

講演抄録より、現在日本は超高齢化社会となっており、日常生活が制限されずに暮らせる「健康寿命」を延ばすためには、目の健康維持も不可欠です。目の健康を守っていくためにはどうしたらよいのでしょうか。年齢を重ねてくると、年のせいなんとなく調子が悪いのかなと思うこともあるかと思いますが、実は早めに治療をしたほうがよい病気が隠れているということがあるかもしれません。今回はそのような病気の中でも失明原因として現在第1位の緑内障を取り上げます。緑内障は40歳以上の日本人の約5%、70歳以上の約10%がかかっていると言われておりありふれた病気です。緑内障の中にもいろいろ種類がありますが、現在は様々な薬物治療や手術があり、早期に発見して、治療を始めることができれば多くの場合失明を避けることができる病気です。しかし、特に初期においては病気の自覚症状が出にくく、自覚症状が出てきて眼科を受診する頃にはすでにかかなり進行した状態であるということも多く、最終的に失明にまで至ってしまうことが多い病気です。

失明を予防するためにできることとして、まずは40歳を過ぎたら検診を受けて、目の状態によっては定期的に様子を見ることが大切と講演されました。

来年度のこの講座は、第600回の研修会となります。記念企画を考えたいと思います。



亀田隆範 先生



公益社団法人 京都府放射線技師会 学術大会（第596回研修会）報告

学術理事 中川 政幸

京都府診療放射線技師会学術大会を令和6年3月3日（日）15時45分より、TKPガーデンシティ京都タワーホテル6F（ナポリ+ミラノ）において、府民公開講座に引き続いて開催しました。参加者は54名でした。6演題ご提供いただき、発表7分、質疑3分として執り行われました。演題発表の内容については、別送したプログラムを参照ください。なおプログラムにおいて、誤植による不手際がありましたことを、改めてお詫び申し上げます。

多岐にわたる演題でしたが、どの演題も丁寧に発表が行われ、非常に理解しやすかったと思います。演者が再考したり、聴講者の疑問が解決したり、ディスカッションすることにより更に理解が深まったと感じました。演者の皆さまのご準備に感謝いたします。来年度は第600回の研修会と相成りますので、何か記念になるような演題発表をご準備いただけると幸甚です。どうぞよろしく願いいたします。



山川拓也さん



上野音央さん

三宅悠司さん



徳満理晋さん



芝本昂平さん



行田圭佑さん



新入職者紹介のお願い

組織調査理事 蒲 順之

京都府診療放射線技師会では毎年京都府下へ就職された新卒者を調査しています。貴施設などに就職された卒後2年目までの技師会未入会の方をご紹介下さい。

今回収集した個人情報は適切に管理し、「入会案内」並びに「フレッシュャーズセミナーの案内」を送付する目的以外に使用しません。

5月15日（水）までに“氏名・ふりがな・性別・勤務先を下記 URL もしくは QR コードから登録いただきますようお願いします。

<https://forms.gle/1yU91XhLiLfchuKk8>



～診療放射線技師法改正に伴う告示研修（実技）～ 近畿地区予定

※実技研修申込には、

- ・基礎研修 700 分（オンデマンド）
 - ・Web での確認試験の合格・修了が必修となります。
- （基礎研修は会員の皆様におかれましては、受講料無料です）

6月22日・23日 大阪府 大阪府済生会中津病院 西棟 12階 会議室

今後の京都府主催（予定）

7月20日・21日、8月10日・11日 開催予定

※満席の場合でも締め切り直前に申し込める可能性がありますので、再度確認して下さい。

※受付開始日につきましては、技師会会員は一般受付より1週間前から先行予約可能です。

※詳細や申込みにつきましては、日本診療放射線技師会ホームページにてご確認下さい。

第11回理事会報告 令和6年3月9日(京放技会議室)

議長に杉原理事、書記に松本理事を選任し午後16時30分より議事開始

I. 経過報告及び計画**1) 経過報告及び計画 河本会長**

- ・経過報告
- 2月10日 令和5年度第2回近畿地域診療放射線技師会会長・副会長会議 (和歌山ホテルアバローム紀の国)
- 2月11日 令和5年度近畿地域診療放射線技師会学術大会 (和歌山ホテルアバローム紀の国)
- 3月3日 令和5年度京都府診療放射線技師会学術大会・府民公開講座 (TKPガーデンシティ京都タワーホテル)
- 3月9日 令和5年度第11回理事会 (京放技会議室)
- ・計画
- 4月3日 令和5年度期末監査 (京放技事務所)
- 4月6日 令和6年度第1回理事会 (京放技会議室)
- 5月11日 第77回通常総会 (京都テルサ)
- 令和6年度第2回理事会 (京都テルサ)
- 6月8日 日放技定例総会(Web)
- 令和6年度第3回理事会 (京放技会議室)
- 6月29日 日放技骨撮影セミナー (京都府立医科大学看護学舎)
- 6月30日 日放技フレッシュャーズセミナー・「フレッシュ診療放射線技師の集い」 (京都テルサ)
- 全地区委員会 (京都テルサ)

2) 各委員会報告及び計画**【庶務】後藤理事**

- ・会員数3月1日現在649名(1月から+0)
- (内訳) 名誉会員4名、正会員623名、賛助会員22名(社)、増員(転入会1名)・減員(転出1名)
- ※令和5年度 新入会累計30名(再入会3名含む・転入会は含まず)
- ・経過報告
- 2月6日 理事会後処理
- 2月17日 事務処理
- 2月25日 事務処理、議事録作成
- ・対外文書(2月1日～2月29日)45件 主なもの
- 2月1日 「事業計画書等の提出」の御案内(公益法人Information) 転入会員の申請について(愛知県診療放射線技師会)
- 2月1日 会費振込時の「振込手数料」の誤りについて(お詫び) (JART事務局)
- 2月20日 賛助会入会に関する問い合わせ (ブラッコ・ジャパン株式会社)
- 1月収納県会費について (JART事務局)
- 2月22日 毒物及び劇物取締法施行規則の改正する省令の施行について (京都府健康福祉部)
- ・発刊文書(2月1日～2月29日)2件
- 2月21日 賛助会員募集に関する趣意書
- 2月25日 令和5年度第10回理事会開催通知
- ・承認・報告事項
- 転入会:1名、転出:1件、勤務先変更:4名、氏名変更:1名

【財務】森理事

- ・会費納入状況(令和6年1月末)
- 令和5年度会費納入者593名、令和4年度会費未納者2名
- ・経過報告:

- 2月21日 2月分給与処理
- 2月22日 収支ベース及び損益ベース予算作成
- 3月1日 会計入力
- 3月4日 会計入力及び会計報告作成作業

【学術】中川理事

- ・経過報告
- 3月3日 府民公開講座、京都府診療放射線技師会学術大会 (TKPガーデンシティ京都タワーホテル)
- ・活動予定:
- 3月 学術委員会
- 次年度Webセミナーのためのアンケート調査(医療安全)

【編集】平井理事

- ・経過報告: 主なもの
- 2月
- ・第10回理事会資料作成・印刷(京放技事務所)
- 理事会後、資料追加編集作業、理事送信、書記担当議事録作成

- ・3月号ニュース作成・編集作業
- ・3月号ニュース校閲作業
- ・創立75周年記念式典冊子作成/校閲作業
- ・府民公開講座資料・学術研修会資料印刷
- ・年報資料まとめ作業
- ・第11回理事会資料作成・印刷
- ・活動予定
- ・4月号ニュース編集・校閲作業予定
- ・京放技創立75周年記念誌作成/完了作業
- ・令和5年度年報作成始める

【広報・渉外】三浦理事

- ・活動予定
- 京都府補助金申請書・報告書作成

【組織調査】蒲理事

- ・経過報告
- 3月1日 組織調査委員会

【厚生】山添理事

- 6月30日 フレッシュ診療放射線技師の集い
- 京都テルサ内「うどんダイニング凜」

【情報】大西理事

- ・経過報告
- 2月11日 近畿地域診療放射線技師会学術大会参加
- 2月15日 メーリングリスト修正更新作業
- 2月20日 75周年記念誌原稿送信
- 3月3日 府民公開講座・京都府診療放射線技師会学術大会参加
- Microsoft teams/Essentialsの更新、ホームページ更新作業

【管理士】三森理事

- ・活動予定・経過報告・理事会に提案したい事項
- 特になし

【両丹学術】橋岡理事

- ・経過報告
- 2月17日 両丹地区総会・新年会(宮津市ミッブル)
- 第7回地区委員会

・活動予定

- 3月22日 第8回両丹地区委員会・次期委員引継ぎ

【受賞者選考委員会】河本会長

- ・報告事項なし

II. 地区経過報告及び計画に関する件**【北地区】大北理事**

- ・報告事項なし

【中地区】岡山理事

- ・報告事項なし

【東地区】田村理事

- ・経過報告:
- 2月15日 研修会(第一日赤病院)のお知らせ〔メール配信〕

【西地区】丸山理事

- ・経過報告:
- 2月10日 3月開催学術大会抄録の誤植連絡〔メール配信〕
- 2月16日 放射線治療見学会案内〔メール配信〕

【南地区】杉原理事

- ・経過報告:
- 2月11日 第4回地域がん診療連携力向上研修会
- 2月16日 「第4回地域がん診療連携力向上研修会」案内〔メール配信〕

【両丹地区】大門理事

- ・経過報告:
- 2月17日 令和5年度第7回両丹地区委員会
- ・活動予定
- 3月22日 第8回地区委員会(次期委員引継ぎ)

【西南部地区】松本理事

- ・経過報告
- 3月3日 令和5年度京都府診療放射線技師会学術大会参加

III. その他審議事項

- ・選挙管理委員会報告(地区理事選挙結果)
- ・令和5年度近畿地域診療放射線技師会会長・副会長会議報告
- ・第77回通常総会について
- 以上、各議案について採択し承認された (文責: 平井)

～ 4 月以降の京放技活動予定～

- 5月11日(土) 14:00～ 第77回通常総会
京都府民総合交流プラザ 京都テルサ (東館 2F 中会議室)
- 6月29日(土) 骨撮影セミナー (京都府立医科大学看護学舎)
- 6月30日(日) 日放技フレッシューズセミナー・「フレッシュ診療放射線技師の集い」

～ 理事会承認・報告事項～

- ・令和6・7年度地区理事候補者選挙開票報告
- ・転入会1名、転出1名、勤務先変更4名、氏名変更1名
- ・令和3年度・4年度の会費未納者への地区を通しての納入促進を依頼
- ・府民公開講座【参加41名】、京都府診療放射線技師会学術大会【参加54名】
- ・次年度Webセミナーのためのアンケート調査 (医療安全)

▶現在の会員異動等、集計

- 【会員数】649名(1月から±0)
(名誉会員4名・正会員623名・賛助会員22名(社))
- 増員 転入会 1名 計1名
減員 転出 1名 計1名
- ※令和5年度 新入会累計30名(再入会3名含む。転入会は含まず)

求人のお知らせ

- ・京都市 中京区・山科区の病院で「正規職員」の採用募集があります。
詳しくは京放技事務所までお問い合わせ下さい。

訃報ご連絡

名誉会員の芦田暢夫様をご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌。

編集後記

いつまでも春らしくない寒さの残る日々が続いています。私は一週間ほど体調不良で辛い日々を送りました。皆様も体調には気をつけてください。

お待たせしました。ようやく「京都府診療放射線技師会創立75周年記念誌」の作成、編集、校閲が終わり発刊の運びとなりました。今年に入り約二ヶ月の間はほぼ毎日のように午前様が続き、最善を尽くしましたが、誤字脱字あるかもしれません。ご了承ください。このニュースと同時に発送の予定です。一度は目を通して頂けると嬉しいです。

今年度も毎月のニュース発行で会員の皆様に有益な情報を発信していきますので宜しくお願いします。

編集委員会 平井 靖